

13 家庭学習

学力向上には家庭学習の習慣化は欠かせません。家庭と連携して落ち着いて学習できる環境づくりを進め、自律的な学習習慣を確立しましょう。

家庭学習は「宿題（教師からの課題）」と「自主学習（各自で考えて行う学習）」に大別されます。発達段階に応じて、宿題の内容を工夫したり、自主学習の方法などを指導したりして効果的な家庭学習を行わせましょう。

1 家庭学習4つのポイント

- (1) 勉強の習慣をつけさせる
…モチベーションを高め、継続して家庭学習に取り組めるようにする
- (2) 学び方を身に付けさせる
…宿題や自主学習の仕方を、年度始めや学期始めに、必ず確認する
- (3) 家庭学習の意義を理解させる
…学校の授業とつながりを持たせ、成果を実感できる場面をつくる
- (4) 自分で考える力を育てる
…支援や指示に従うだけでなく、自力で課題解決する力を育てる



2 家庭との連携

- ・家庭学習の見届けをしっかりと行ってもらう
- ・頑張りを、たくさん褒めるようにしてもらう
- ・落ち着いて勉強できる環境を整えてもらう
- ・家庭学習と一緒に取り組んでもらう（特に低学年）

3 ICTを使った家庭学習の工夫

- ・『メタモジ クラスルーム』や『Classroom』を活用した課題の配付と提出
- ・習熟度に合わせたドリル学習の推進（スマイルドリル）
- ・デジタル教科書（外国語・英語）の活用
- ・カメラ機能（録画、写真、録音）の活用
- ・発表用のスライド、プレゼン資料の作成 …など

宿題や自主学習に、1人1台端末を積極的に有効活用しよう！



4 児童生徒のやる気を高める工夫

- (1) 児童生徒の頑張りを評価して、認めることを忘れない
 - ・よいノートを教室に掲示したり、学級便りで発信したり、学習用端末で共有する
 - ・次回への意欲につながるような前向きな言葉をノートにコメントする
 - ・クラスや班で目標を設定し、達成度が目に見えるよう掲示してモチベーションを上げる
 - ・家庭学習に取り組むことの大切さやメリットを継続して伝える
- (2) 自律的な学習習慣を確立する
 - ・ページ数や回数で評価せず、目標や目的を明示して達成度を重視する
 - ・自分に必要な学習内容や、自分に合った学習方法を見つけることのできる力を育成する